

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課

担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道266号 <small>たかど</small> 高戸バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	熊本県
起終点	自： <small>くもとけんあまくさぐんりゅうがたけまちたかど</small> 熊本県天草郡龍ヶ岳町高戸 至： <small>くもとけんあまくさぐんりゅうがたけまちたかど</small> 熊本県天草郡龍ヶ岳町高戸			延長	2.7km
事業概要	国道266号は、熊本県牛深市から熊本市に至る延長約162kmの主要な幹線道路である。高戸バイパスは、現道が大型車の離合が困難で物流や観光資源に多大な損失を与えており、また、通学路にもかかわらず歩道もないことから早急な対策を行う必要のある延長2.7kmの2車線道路である。				
H6年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H7年度用地着手	H11年度工事着手		
全体事業費	48億円	事業進捗率	58%	供用済延長	0km
計画交通量	4,900台/日				
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 2.0 (残事業)	総費用 ： (残事業)/(事業全体) / 51億円 (事業費) / 50億円 (維持管理費) / 1億円	総便益 ： (残事業)/(事業全体) / 101億円 (走行時間短縮便益) / 96億円 (走行費用減少便益) / 5億円 (交通事故減少便益) / 1億円	基準年 ： 平成15年	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 国土・地域ネットワークの構築(現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する。) 円滑なモビリティの確保(当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する。) <p style="text-align: right;">他6項目に該当</p>				
関係する地方公共団体等の意見	特になし				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	事業当初は約3,500台/日(H2交通セグ)の交通量であったが約10年間で1.14倍の約4,000台/日(H11交通セグ)となっており、整備の必要性は高まっている。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	これまで用地買収を中心に事業を推進してきており、引き続き、残り用地の早期買収に努め、トンネル工事や改良工事の進捗を図りたい。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	用地買収地において相続等が発生し、その事務処理に時間を要してきたものの、残りの用地を早期に買収し、平成19年度の全線完成供用を目指す。				
施設の構造や工法の変更等	特になし				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	各地域の生活道路であるとともに、水産業等の振興や天草上島の東海岸の観光ルートとしても重要な道路であることから、事業の必要性・重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図	<p>The map illustrates the Takado Bypass project. It shows the existing road (H266) and the new bypass route (L=2.7km). Key locations include Higashi-ura (H15 Higashi-ura Bypass, L=480m), Takado Tunnel, and Takado. The map also shows surrounding areas like Higashi-ura, Takado, and Takado Bypass. A legend indicates road types: Higashi-ura (solid line), Takado Tunnel (dashed line), and Takado Bypass (dotted line). A scale bar shows 0, 100, 200 meters.</p>				

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。